



名古屋商科大学が枕崎合宿を実施

■ 2月24日から3月3日までの間、愛知県の名古屋商科大学野球部が市営野球場で枕崎合宿を行いました。2月24日に開催した歓迎セレモニーでは、実りある合宿を祈念し、市や枕崎水産加工業協同組合が冷凍かつおかつおパックなどを贈りました。



市明推協高校生委員が市議会を傍聴

■ 3月3日、枕崎市明るい選挙推進協議会(明推協)の高校生委員5名が議会を訪れ、任期中最後の活動として市議会定例会の一般質問を傍聴しました。



目を輝かせて、花と向き合う

■ 3月3日、枕崎市大塚周年菊研究会活動の新たな取り組みとして、立神小学校5年生を対象にフラワーアレンジメント体験の支援を行いました。



枕崎中65歳会が母校へ寄付

■ 3月4日、枕崎中学校のOB65歳会が、母校の生徒たちが夢や希望を持ち、のびのびと育ってほしいという思いを込め寄付を行いました。受け取った生徒は、「学校のために大切に使います」と感謝の言葉を述べました。



100歳の誕生日を迎えました

～永留ノリ子さん、竹迫エミ子さん

3月25日までに、2名の方が100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

1 永留ノリ子さん(山手町・3月10日)

枕崎市出身の永留さんは、5人の子どもに恵まれ、若い頃は自営業をしていました。趣味は編み物などで、長生きの秘訣は「気にせず生きることです」と話します。

2 竹迫エミ子さん(桜木町・3月25日)

鹿屋市出身の竹迫さんの趣味は書道で、長生きの秘訣は「よく話すことです」と話します。

皆さん、これからも元気で長生きしてください。



小学生と高校生がチョコづくりで楽しく交流

～「枕高生と作ろうチョコレート」が開催

3月14日、枕崎高校で同生徒会主催のイベント「枕高生と作ろうチョコレート」が開催されました。市内の小学生とその保護者が参加し、高校生と一緒にチョコレート作りを楽しみました。高校生は作り方を丁寧に教え、小学生たちは笑顔で取り組み交流を深めていました。また、ドバイチョコ風の枕崎高校オリジナルチョコレートの紹介も行われ、参加者の関心を集めていました。会場は甘い香りに包まれ、世代を超えたふれあいの場となりました。参加した小学生からは「楽しかった」「また参加したい」といった声が聞かれ、思い出に残るひとときとなりました。



薩摩おいどんリーグ2026

～カテゴリーを超えた交流戦が本市で開催

2月21日から3月8日まで、大学・社会人・プロなどカテゴリーの枠を超えた交流戦「薩摩おいどんリーグ2026」が開催され、本市市営野球場でも15試合が行われました。3月1日のピックアップゲームでは、名古屋商科大学と八戸学院大学が対戦し、白熱した試合の末、引き分けとなりました。当日はプラスバンドによる応援のほか、「おい井」の販売やキッチンカーの出店もあり、会場は多くの観客でにぎわいました。会場を訪れた人たちは、カテゴリーを越えた交流戦ならではの熱戦を楽しんでいました。



川辺チーム健闘の5位

～第73回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

第73回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月21日から25日までの5日間の日程で開催され、川辺チームは総合5位と健闘しました。初日の21日は本市を通過し、選手たちは懸命の走りを見せていました。

会場や沿道には多くの市民が駆けつけ、選手たちに声援を送ったほか、まくらぎきハーモニーネットワーク委員会による茶節や腹皮のから揚げの振る舞いが行われ、大盛況となっていました。



グルメとステージでにぎわい広がる

～まくらぎき春の市2026を開催

3月15日、市営野球場で「まくらぎき春の市2026」が開催され、枕崎を中心に南薩の特産品などが並びました。バックスクリーン前のステージでは、吹奏楽、よさこい、ダンスなどのパフォーマンスが行われ、球場内や駐車場には飲食、雑貨、消防・警察車両の展示など多様なブースが設置されるなど、市内外から多くの人々が訪れ賑わいました。



親子でさまざまな体験を楽しむ

～木口屋集落で自然花まつりを開催

3月1日、木口屋集落で子育てふれあいグループ自然花主催の「自然花まつり」が開催されました。枕崎舞炎鯉によるよさこいやFAMのダンスなどの出し物のほか、餅つきやささまざまな工作体験などを多くの親子が楽しんでいました。

